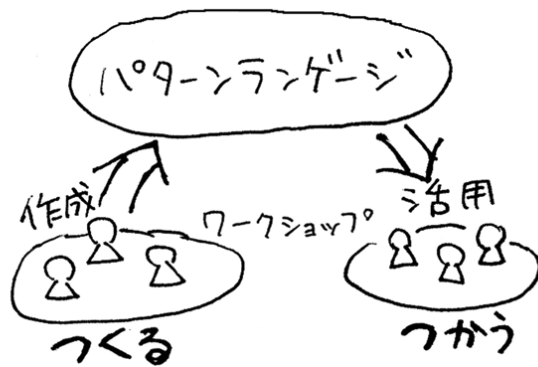


・ パターンランゲージとワークショップの関係



・ IAやPMへの応用

普遍的価値 < 間主観的価値

↓
みんなに共感してもらえる

パターンをつくるプロセスが組織学習であり、
普段言えないようコミュニケーションを誘発する。

・ 情報アーキテクチャとパターンランゲージ

(リチャード・ソウル・ワーマンによる定義)

IAとは... 「情報を分かりやすく伝える人」

TEDの創設もIAとしての活動の一環

クリストファー・アレグザンダーのメッセージ

アーキテクチャとは... かちどち=枠組みではない。

やわらかい **アーキテクチャ**。

構造も
表層も

・ テーマの設定

ある程の枠組みから出発する。

パターンランゲージに向いてるのは、ベストプラクティスはあるけど、

実現するのが難しいテーマ (プレゼンテーションパターンとスタイル・ジョブズ)

"Rule of three"

基本的には自分の経験からはじめるが、自分以外でも
同じ事例がろく違う場所で起きてるようなときは、
共感の可能性が高いので、とり入れる。

パターンランゲージ 1.0 ⇒ パターンランゲージ 3.0

(建築を)つくるための
コミュニケーション支援

経験を共有して、
よりリアルに理解するためのもの

質問1. 組織でのファシリテーションで気をつけることは?

マニュアルによる状況問題解決ではなく、目的を実現するために
クリエイティブな環境をどうつくるか? が大事

言語化されやあい方に流されず、

パターンで「質」が実現できるか、絶えず問い直す。

「パターンは文学であり、詩や小説を書くことである」

by リチャード・ガブリエル

質問2. 企業での活用例はあるか?

カネボウ化粧品とのコラボ "Generative Beauty Patterns" がある。